



| | |
|------|------------------|
| 移住者名 | 西川 |
| 都道府県 | 東京都 小笠原村父島 |
| 移住先 | 和歌山県⇒東京都 小笠原村父島 |
| 移住年 | 2016年 |
| 職業 | 携帯ショップ販売員⇒村役場公務員 |
| 家族構成 | 単身 |
| 移住形態 | 1ターン |

Q. 移住したきっかけは？

30歳を目前に転職を考えていたところ、東京に住む親戚から、世界自然遺産に登録されている小笠原諸島で村役場職員の募集があるという情報を聞きました。

自分の中で、前々から離島暮らしに漠然とした憧れもあったことから、これも何かの縁だと思い、思い切って応募しました。

採用試験が行われた父島では、自然の素晴らしさに感動したこと、島民の皆さんからのたくさんのおもてなしを受けたことで、「絶対に戻って来たい。」という気持ちになったことは、今も心に残っています。

Q. 移住の際不安に思ったことは？

小笠原という遠隔離島への交通手段が、一番の不安ではありました。

まず航空路が無いこと、週に一度で片道25時間半（現在は24時間）の船便が唯一の交通機関だと知った時は本当に驚きました。

それでも、採用試験で「おがさわら丸」に乗船し、父島に向かっていく中で、その不安は反対に楽しさに変まりました。現代社会では、飛行機や新幹線、モノレールにいたるまで、日常の移動時間が短縮し効率化されていく中で、時間の大切さを忘れていた気がします。24時間という移動時間は長いと思われそうですが、時間に追われている感じがしない一日を味わうことができます。

島に移住して生活していくようになった今では、年に2回程度帰省をしていますが、移動について不便に思ったことはありません。

Q. 移住して良かったことは？

移住したことで、生活の中で「自分時間」が十分にとれたことが良かったことです。（小笠原には混雑というものがなく、通勤時間もわずか5分。）

週1便の定期船「おがさわら丸」の運航に合わせ島の生活環境は成り立っています。そのサイクルに合わせることで、今まで自分がやりたかったことができ、新しく興味を持ったことを始めることができました。

また小笠原では毎月のように、大人から子供まで参加して開催する様々なスポーツ大会があります。皆さん体を動かすのが好きで、未経験スポーツでも楽しんで行っています。（私も色々な方から度々お誘いを受けますが、選んで参加しています。）

今では、野球やサッカー、相撲、ロードレース（6キロマラソン）など、小笠原に来るまで触れたこともなかった「スポーツ」をしています。

個人的に、晴れた休日に釣りやシュノーケリングで小笠原諸島ならではの自然を満喫するのがおすすめです。



Q. 移住を考えている方へメッセージ

私だけでなく、小笠原移住者のほぼ全員が、「一度島に来て見てください。」と言います。

旅行気分でも構いません。(時期を選んだり、ツアーパックで申し込むと思っただけよりも安価で来られます。)

「百聞は一見にしかず」というように、小笠原の父島、母島をご自身の眼で見て、肌で感じていただきたいです。

SNS やメディアなどで、多くの情報を仕入れることはできますが、島の良い面、不便な面を感じるには、実際に訪れてみるのが一番です。

新たな地での生活には不安を感じることは当然ですが、その不安をできるだけ解消することが移住の近道かもしれません。

小笠原の雄大な自然を体感して、先輩移住者の話を聞くことでより良い移住計画につながると思います。おがさわら丸で2泊、小笠原で3泊すると自然と島民の知り合いができるものです。それも一つの小笠原の魅力だと私は思います。